

楽しく故事成語

境港市観光協巡回

尚徳小で紙芝居3話



境港市観光協会は15日、昔から伝えられてきたいわれのある言葉を漫画で分かりやすく解説した「漫画・故事成語」の紙芝居を尚徳小学校(米子市榎原、倉光信一郎校長)で口演した。「矛盾」「蛇足」「塞翁が馬」の3

話が披露され、子どもたちは紙芝居を楽しみながら故事成語について理解を深めた。

本年度は鳥取県中部の小学校74校を回る予定で、同小が最初。

同協会職員の楠麻貴子さんが作者の漫画・故事成語は同協会が2007年から販売し、全国の小中高校622校

で国語の副教材として活用されている。紙芝居は「まんが王国」とり「国家戦略プロジェクト」推進事業を受けて制作された。

4年生47人を前に、同協会職員の岡本志織さん(38)とマスコット

子どもたちの前で口演する岡本さん(左)とこいせこ君

キャラクターの「こいせこ君」が口演。「どんな矛も通さない」という盾と「どんな盾でも破る」という矛を売る商人が、客に「盾を矛で突いたらどうなるか」と問われて答えられなかった話を描いた「矛盾」などを自然な語り口で演じた。

「紙芝居になると分かりやすかった」「故事成語は難しいと思っていたけど楽しく思えた」「意味が良く分かった」と子どもたちの評判は上々。

倉光校長は「音声にして伝えるとさらに分かりやすかった。言葉への興味が広がるきっかけになると思う」と話していた。

(渡部ちゆみ)